

# ◎ 彙 報

## 第二六回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇八年二月二〇日(土) 一三半時より
- 会場 九州大学六本松キャンパス大学院棟一〇一号教室
- 研究発表

「マリアの首」の系譜

——田中千禾夫・井上光晴・青来有一・田口ランディ——

田崎 弘章

解体される「ヒロシマ」の「平和」

——ジェラルド・ヴィゼナーの『ヒロシマ・ブギーアトム57』

松永 京子

## ○ 報 告

聞き書きから散文詩へ

中原 澄子

## 第二七回 原爆文学研究会

- 日時 二〇〇九年五月五日(火) 一四時より
- 会場 九州大学西新プラザ中会議室
- 研究発表

「殲滅兵器」という問題

——古井由吉「先導獣の話」論——

雨宮 幸明

山田かんの詩

——『アスファルトに仔猫の耳』を中心に——

中原 豊

## 第三回戦後文化運動合同研究会・第二八回原爆文学研究会合同研究会

- 日時 二〇〇九年八月二十九日(土)・三〇日(日)
- 会場 広島大学東千田キャンパスA四〇四 講義室
- テーマ 〈広島／ヒロシマ〉をめぐる文化運動再考

——「つながり」と想像力の軌跡——

報告1 峠三吉と「われらの詩の会」

報 告 水島 裕雅

コメン ト 宇野田 尚哉

報告2 山代巴の文学／運動

報 告 竹内 栄美子

コメン ト 松本 麻里

報告3 山田かんとサークル誌

報 告 楠田 剛士

コメン ト 坂口 博

報告4 「原爆の図」全国巡回展の軌跡

報 告 岡村 幸宣

報告5 体験者の表現と運動のあいだ

——丸木スマ、大道あやの「絵画世界」を中心に——

報 告 小沢 節子

コメン ト 山本 唯人

波瀾 剛

報告6 「原爆ゆるすまじ」と東京南部

——50年代サークル運動の大衆化と極大化のシーン——

報 告 道場 親信

報告7 広島市街区とうた・詩・演劇

報 告 東 琢磨

コメン ト 小田 智敏

○ 司会・報告者・コメンテーター

川口 隆行 (広島大学／日本近代文学、文化史研究)

道場 親信 (和光大学／日本社会科学史、社会運動論)

水島 裕雅 (広島大学名誉教授、比較文学)

宇野田 尚哉 (神戸大学／日本思想史)

竹内 栄美子 (千葉工業大学／日本近代文学)

松本 麻里 (ものかき／アクティヴィスト／雑誌『VOL』編集委員)

楠田 剛士 (九州大学大学院生／日本近代文学)

坂口 博 (創言社編集人)

岡村 幸宣 (原爆の凶丸木美術館学芸員)

小沢 節子 (早稲田大学ほか／日本近現代史、美術史)

山本 唯人 (東京空襲・戦災資料センター研究員／都市社会学)

波瀆 剛 (九州大学／日本近代文学、アヴァンギャルド研究)

東 琢磨 (音楽評論家)

小田 智敏 (広島修道大学ほか／ドイツ哲学、音楽美学)

### 第二九回 原爆文学研究会

○ 日時 二〇〇九年一〇月三十一日(土) 一四時より

○ 会場 九州大学西新プラザ中会議室

○ 研究発表

大野允子『ヒロシマの少女』論

——おとなになるとはどういうことか——

ロベルタ ティベリ  
Roberta Tiberi

核エネルギー言説の戦後史

↳ 原子核物理学者の言説を中心に↳

山本 昭宏

### 『原爆文学研究』 投稿規定

一、原爆文学研究会の機関誌として会員からの意欲的な投稿を歓迎します。なお、会員以外の原稿掲載については研究会事務局で判断します。

一、投稿に際しては、住所・電話番号を明記の上お送り下さい。原稿は返却いたしませんので、お手元に控えをお残し下さい。

一、パソコン等を使用の場合はプリントアウト原稿にデータファイルを添付の上お送り下さい。

一、原稿は、新字のあるものはなるべく新字を用い、注の形式等は既刊のものに準拠してください。

一、投稿者は各自の原稿一頁(機関誌の書式)につき一〇〇〇円を発行経費として負担することをご了承下さい。